

PF-UA 第 1 回幹事会議事録

日時：6月5日(水)13時00分～14時30分

場所：KEK 4号館 2階輪講室 1

佐藤衛、朝倉清高、田中信忠、植草秀裕、腰原伸也、清水敏之、近藤寛、木村正雄、村上洋一、足立伸一、熊井玲児

○幹事報告

会計報告(田中会計幹事)

H25 年度予算案を提示

BL-4A 問題(腰原戦略・将来計画検討幹事)

- ・ 2 結晶分光器の運用に集中したユーザー運営 BL とする
- ・ 多層膜分光器装置の運営がユーザー運営 BL の形で可能かどうか、ユーザー間で検討中
- ・ 人事については最低限 3 年前までに PF-UA 側に提案し、状況説明をするように要望する

の 3 点について運営委員会で協議の後、PF に要望書を提出。

院生奨励課題 (近藤教育担当幹事)

PF-UA からの提案に対する PF 側の疑問、問題点が示された。

- ・ PF 側の受入担当教員の役割が不明確
- ・ 放射光に軸足を置いた研究とはどのような研究を想定しているのか
- ・ 既存課題のビームタイム確保に使われかねないのではないのか
- ・ 特別共同利用研究員とどう摺り合わせるのか

これらを受けた教育小委員会の意見をまとめて再度 PF に要望書を提出する。7 月の PAC にかけて、できれば来年 4 月実施を目指す。

○新 3 GeV リング構想について(村上施設長)

村上施設長から 6/1 の放射光光源将来計画検討会の報告があった。

ERL 実現までの 10 年間で埋めるために今後の放射光将来計画として

- ・ PF は「3 GeV 高輝度蓄積リング計画」の実現に向けて、All Japan の体制の中で先導的な役割を果たす。
- ・ ERL の加速器技術開発は継続的に行っていく。

拡大運営委員会でコンセンサスを得られたら、3 GeV 高輝度蓄積リング実現に向けての要望書を KEK に提出する。